

株式会社南都銀行
サステナブル預金フレームワーク

2026年5月29日 制定

目次

1.サステナビリティに関する取組	3
(1) サステナビリティに関する方針等	
(2) マテリアリティと KPI	
(3) サステナブルファイナンスとその意義	
2. サステナブル預金フレームワーク	4
(1) 本フレームワーク策定の目的及び背景	
(2) 本フレームワークの概要	
(3) 本フレームワークにおける資金管理	
(4) レポーティング	
3. 第三者によるレビュー	6

1.サステナビリティに関する取組

(1)サステナビリティに関する方針等

株式会社南都銀行（以下、南都銀行）は、財務資本と非財務資本を活かしながら、ステークホルダーの皆さまとともに価値を共創し、当行グループの持続的な企業価値の向上と地域社会の持続的な発展に取り組めます。こうした考え方のもと、当行グループはサステナビリティに関する全社的な基本方針として、「サステナビリティ基本方針」を定め、取り組んでいます。

■ サステナビリティ基本方針

- 当行グループの経営理念の底流はサステナビリティそのものです。
- 当行グループは経営理念のもと、社会・環境問題の解決を通じてステークホルダーの求める価値を提供し続けます。
- 当行グループは持続可能な地域社会の実現に貢献し、当行グループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図っていきます。

■ サステナビリティマネジメント体制

当行グループではサステナビリティは特別な活動ではなく、事業活動そのものと考えており、事業遂行を通じてサステナビリティ課題に対応していきます。具体的には、取締役会において定める基本方針と当行グループが優先的に取り組む重要課題に基づき、経営会議において具体的な取組テーマを特定し、テーマに応じて関連部署が連携しながら具体的な施策を推進していく体制としています。

(2)マテリアリティと KPI

南都銀行は、持続可能な地域社会の実現に向け、金融仲介機能の発揮などの本業に加え、グローバルに対応が求められるサステナビリティに関する課題や地域を取り巻く様々な課題について取締役会で議論し、ステークホルダーの皆さまや当行グループにとっての重要度を勘案して、以下のとおり優先的に取り組むマテリアリティ（重要課題）を特定しました。なお、マテリアリティについては適宜見直しをしていく方針です。

■ 重要課題（マテリアリティ）

項目
深刻化する気候変動問題への対応
地域経済の持続的成長の実現
便利で豊かな社会の実現
多様な人材が活躍できる健全な企業風土の醸成
多様化・複雑化するリスクへの備え

■ サステナビリティ長期 KPI

南都銀行は、サステナビリティ基本方針に基づき、「長期 KPI」を設定しています。

項目	内容
サステナブルファイナンス (2023 年度～2030 年度 投融資累計実行額)	1兆円
CO ₂ 排出量削減目標 (2030年度) (対象：Scope1および2)	75%以上 (2013年度比)
女性管理職比率 (2027年度)	20%以上

(3)サステナブルファイナンスとその意義

南都銀行は、地域やお客さまのサステナビリティ課題の解決に向けた活動を資金面から支援するため、サステナブルファイナンスの実行額について目標を設定しています。2030 年度までに、投融資累計で 1 兆円のサステナブルファイナンスを実行することを目指し、今後も目標達成に向けた取組を強化していきます。

<対象>

環境分野・社会分野の課題解決に資するファイナンス

- ・環境分野：再生可能エネルギー・省エネルギー・ZEB・ZEV など
 - ・社会分野：地域活性化・地方創生・スタートアップ・事業承継・BCP 対策など
- お客さまの SDGs 対応を支援・促進するファイナンス

2. サステナブル預金フレームワーク

(1) 本フレームワーク策定の目的及び背景

南都銀行は、本フレームワークに基づくサステナブル預金（以下、本預金）による安定した資金調達を通じて、持続可能な社会の実現に向けたサステナブルファイナンスをさらに推進します。調達した資金は、環境改善事業など地域社会のサステナビリティに資する取組に還流し、創業段階から成長段階まで幅広い企業を積極的に支援することで、地域経済の活性化と地域創生に貢献します。また、預金者には地域の社会的課題や環境問題の解決に貢献する活動に関わる機会を提供します。さらに、本預金をサステナブルファイナンスという形で地域に届けることで、資金の好循環を生み出し、地域社会とともに歩む金融機関として、持続可能な社会の実現に貢献します。

(2) 本フレームワークの概要

① 本預金の資金使途

本預金により調達した資金は、下表に掲げる取組に関連する投融資のうち、南都銀行が選定するもの（以下、適格ファイナンス）に充当します。なお、適格ファイナンス残高が存在する限り、将来にわたり継続的に本預金の募集を行う予定です。

i	外部機関から国際原則等に関する評価や第三者意見を取得しているグリーンローン、グリーンボンド、ソーシャルローン、ソーシャルボンド、サステナビリティローン、サステナビリティボンド、サステナビリティ・リンク・ローン、サステナビリティ・リンク・ボンド、トランジションローン、トランジションボンド、トランジション・リンク・ローン、トランジション・リンク・ボンド、ポジティブ・インパクト・ファイナンスのうち過去5年以内に実行されたファイナンス。
ii	グリーンプロジェクトに対する過去5年以内に実行されたファイナンス。グリーンプロジェクトとは、環境課題の解決に貢献する事業を指します。充当するグリーンプロジェクトの選定にあたって、南都銀行が取扱う太陽光発電・バイオマス発電・風力発電に関する事業への投融資を対象とします。

② 選定プロセス

南都銀行ソリューション営業部は、本フレームワークに適合する投融資を選定し、その適合の確認を行います。充当にあたっては、ソリューション営業部長の承認をもって決定します。

③ 外部評価

南都銀行は、本フレームワークに関して、国際原則等に基づく確認に関する第三者意見を株式会社日本格付研究所（以下、JCR）から取得しています。

(3) 本フレームワークにおける資金管理

南都銀行は、本預金残高と本フレームワークの対象とする投融資残高（以下、本投融資残高）を確認し、本投融資残高が本預金残高を上回る状態を維持するように管理を行います。本預金残高が本投融資残高を上回った場合、その超過分は現金又は現金同等物で管理を行い、可能な限り速やかに投融資先に充当することでこの超過分を解消するように努めます。

(4) レポーティング

南都銀行は、本預金残高が存在する限りにおいて、下記項目を年1回、ホームページで開示する予定です。

- 本預金の預入残高
- 適格ファイナンスの分類別充当金額
- 本預金の預入残高が適格ファイナンスへの充当総額を超過していないこと
- 適格ファイナンス毎のインパクトによる貢献が期待されるSDGsに係る17のゴール（一部ファイナンスに限る）
- その他、適格サステナブルファイナンス分類毎に発現が期待されるインパクトの定量的な指標（分類毎に開示が必要な場合において対応する）

3. 第三者によるレビュー

南都銀行は、本フレームワークに関して、JCR から、「インパクトファイナンスの基本的考え方」で示された事項に適合していることを確認する第三者意見を取得しています。

以上